

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年07月29日

計画の名称	第二期青梅駅周辺景観形成地区における良好な街なみの形成												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	青梅市												
計画の目標	<p>青梅駅周辺景観形成地区は、古くからの商店街や街なみが存在している。周辺部にも寺社や仏閣、美術館などの文化的施設が点在しており、さらに大規模な永山公園や釜の淵緑地などのレクリエーション施設もある。</p> <p>また歴史を伝える青梅大祭やだるま市などのイベントも開催されている。</p> <p>しかし、交通手段や利用者のニーズの変化、郊外の大規模店の立地により、商店街に空き店舗も発生して活力が低下する傾向にある。</p> <p>このような中、地元の景観まちづくり市民団体と連携を図りながら、青梅駅周辺景観形成地区の様々な時代の歴史的建築物との調和と周辺の山なみへの眺めの保全を図り、「里山と川に包まれ 歴史が息づく 文化の薫る魅力あるまち」の実現に向けて、良好な街なみ景観を形成していく。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	206	A	206	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	・景観形成地区内における周囲の景観を活かした道路美装の整備率 景観形成地区内における周囲の景観を活かした道路美装の整備率(美装化総延長/美装化計画総延長)	26%	%	100%
2	・景観形成地区内における歴史的建築物等の維持向上に資する修理・修景棟数 景観形成地区内の建築物等のうち、歴史的建築物等の維持向上に資する修理・修景を実施する棟数	5棟	棟	8棟
3	・青梅駅前観光案内所年間(320日)利用者数 青梅駅前観光案内所年間(320日)利用者数	16625人	人	18240人
4	・住江町観光施設年間入館者数(昭和レトロ商品博物館、青梅赤塚不二夫会館) 住江町観光施設年間入館者数(昭和レトロ商品博物館、青梅赤塚不二夫会館)	35521人	人	50000人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
青梅駅前観光案内所年間利用者数および住江町観光施設年間入館者数の当初現況値はH25年度実績												

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証・分析し、その検証結果を踏まえて、第二期計画への反映を行った。 また、評価結果については、客観的な視点を反映させるため青梅市景観審議会にて審議し、答申を求めた。	令和2年度
	公表の方法 市公式ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	住宅修景や道路美装化の事業に地元住民の意見を反映するため、地元住民で組織された「景観まちづくり市民団体」に助成を行い、その活動を継続して支援することで、市民参加による景観形成の創出となる例ができた。 また、魅力ある街なみを後世に伝えるため、事業区域を横断する幹線である旧青梅街道から、裏通りに入っていく横丁等の美装化を行うことに加え、事業区域内における貴重な景観資源である景観形成重要資源を保存・復元することで、区域全体を回遊し、楽しめる空間づくりの基礎ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	地元住民で組織された「景観まちづくり市民団体」が行っている、事業区域内の景観形成の啓発等の活動について、助成を行うことでその活動を継続して支援することができた。 この活動が、歴史的建築物の所有者から条例にもとづく「景観形成重要資源」の指定同意に繋がり、件数が増加する要因の一つとなり、また、事業区域内での建築行為等について、市への情報提供や条例にもとづく届出を周知するなど、良好な景観形成の推進に重要な役割を果たした。

○特記事項（今後の方針等）

平成22年度から開始し、現在2期目の社会資本総合整備計画「第二期 青梅駅周辺景観形成地区における良好な街なみの形成（平成27年度～平成31年度）」は、今年度（令和元年度）が計画最終年度のため、次年度以降の「第三期整備計画」への事業継続などについて、市内部で検討、調整を行ったが、事業計画区域内の青梅駅周辺で予定されている、再開発事業や都市計画道路の整備、無電柱化事業など、各整備事業の進捗状況を踏まえた上で、当該事業の規模、実施時期などの計画を検討するとの結論となったため、当面の間、次期整備計画については延期することとなった。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	景観形成地区における周囲の景観を活かした道路美装化の整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	54%
2	景観形成地区内における歴史的建築物等の維持向上に資する修理・修景棟数	
	最終目標値	8棟
	最終実績値	7棟
3	青梅駅前観光案内所年間(320日)利用者数	
	最終目標値	18240人
	最終実績値	18281人
4	住江町観光施設年間入館者数(昭和レトロ商品博物館、青梅赤塚不二夫会館)	
	最終目標値	50000人
	最終実績値	28317人

(参考様式3) まちなみ環境整備

